

今も残る日本橋元祖の店

お江戸の真ん中日本橋。江戸時代より商業・文化の発信基地として栄えた日本橋は“元祖”の宝庫。今も残る元祖の店をご紹介します。

- ①砂場〔天ざる〕②三越本店〔広告・百貨店・エスカレーター・お子様ランチ〕③にんべん〔商品券・フレッシュパック〕④千疋屋総本店〔フルーツポンチ〕⑤山本海苔店〔味附海苔〕⑥日本橋西川〔蚊帳〕⑦榮太樓總本舗〔甘名納豆〕⑧山本山本店〔煎茶・玉露〕⑨玉ひで〔親子丼〕

榮太樓總本舗〔甘名納糖〕⑦

中央区日本橋1-2-5
電話(3271)7781
9時～18時 日曜祝日休
安政4年(1857)創業。当時安価だった小豆の一種、金時大角豆を糖蜜で煮詰め、新しい菓子をつくり出したのが初代細田安兵衛。名前の由来は、当時浜松名物だった“浜名納豆”をもじって「甘名納糖」に。世間ではそれがいつの間にか呼びやすい“あまなっとう”になったが、商品名は変わらず現在に至る。



山本山本店〔煎茶・玉露〕⑧

中央区日本橋2-5-2
電話(3281)0010
9時30分～19時(金曜は20時まで、喫茶室10時～) 元旦休
元禄3年(1690)、お茶で名高い京都から初代嘉兵衛が現在の地、日本橋に茶舗を創業。煎茶の製法を生み出し、世に広めた。また、六代目が創製した「玉露」はお茶の最高級品といわれる。店内には喫茶室も併設。



玉ひで〔親子丼〕⑨

中央区日本橋人形町1-17-10
電話(3668)7651
11時30分～13時、17時～22時(土曜は16時～21時) 日曜祝日休
宝暦10年(1760)、山田鐵右衛門が將軍家に仕える「御鷹匠仕事」をもって家業を興し、人形町の地に軍鶏鍋専門店を開業した。軍鶏鍋の残りや卵でとじた親子丼は、明治24年(1891)頃、五代目山田秀吉の妻とくにより考案された。



水天宮前
ロイヤルパークホテル



千疋屋総本店〔フルーツポンチ〕④

中央区日本橋室町2-1-2 日本橋三井タワー内
電話(3241)0877
9時～19時(日曜祝日は18時まで/カフェ、バー、レストランの時間は異なる) 無休
ヨーロップで親しまれていた「パンチ」(ジンやリキュールの軽いカクテル)を、果物で飾ったら……という発想から生まれた「フルーツポンチ」。大正12年(1923)、パンチにたくさんの種類の果物を刻んで入れたものを発売した。パンチとはサンスクリット語で5を意味する。すなわち、水、酒、レモン、香料、砂糖の5種類を入れた飲み物の意味。それではつまらないということで、パンチでなくポンチにした。

山本海苔店〔味附海苔〕⑤

日本橋室町1-6-3
電話(3241)0261
9時～18時30分 正月3日休
嘉永2年(1849)、初代、山本徳治郎が室町1丁目に創業。味附海苔をつくり出したのは二代目徳治郎。明治2年、天皇陛下が京都へご行幸の際の東京土産として考案された。二代目は剣術を通じ山岡鉄舟とも親交があった。



人形町
玉ひで

日本橋西川〔蚊帳〕⑥

中央区日本橋1-5-3
電話(3271)5531
10時30分～18時30分
寝具類の大手西川の初代西川仁右衛門は近江国蒲生郡の出身。元和元年(1615)、日本橋に進出し、蚊帳と畳表の販売を試みる。二代目甚五郎は、近江蚊帳の特色とされる、涼感あふれる緑色の「萌黄蚊帳」を考案。この西川式“萌黄色の蚊帳”は、江戸時代の日用品となり、ロングセラーを続け、現在に至っている。



砂場〔天ざる〕①

中央区日本橋室町4-1-13
電話(3241)4038
11時～20時(土は19時30分まで)
第3土と日曜祝日休
明治2年(1869)創業。昭和20年頃からかき揚げを入れた温かいつゆに冷たい蕎麦をつけて食べる元祖「天ざる」を、三代目が考案した。



三越本店〔広告・百貨店・エスカレーター・お子様ランチ〕②

中央区日本橋室町1-4-1
電話(3241)3311
休業日など月によって異なる
天和3年(1683)、呉服商越後屋八郎右衛門(三越の前身)が駿河町に新築移転した時に、引札(ちらし)を配った。その引札の「呉服物現銀安売掛け値無し」のコピーは、江戸市民に大いに受けた。明治37年(1904)には伝統的経営法をあらため商品部門を拡大する形で転身、日本初の百貨店である「株式会社三越呉服店」の誕生となった。大正3年(1914)10月、建築物内に常設されたエスカレーターの日本での第一号が、三越呉服店新館に設置された。昭和5年(1930)、レストランに“お子様洋食”という新メニューが登場、これが元祖「お子様ランチ」。



にんべん〔商品券・フレッシュパック〕③

中央区日本橋室町2-3-1
電話(3241)0241
9時30分～17時30分(土は17時まで)
日曜祝日休
元禄12年(1699)創業、日本橋四日市の土手蔵(現日本橋1丁目・野村證券の本社付近)で商いを始めた。六代目高津伊兵衛は、米とともに保存性の高い鯉節に相場が立っていることから、いつでも鯉節と引き換えられる「商品券」を売り出した。これは世界最古の商品券といわれている。また、鯉節削りを小分けにした「鯉節フレッシュパック」(不活性ガス置換包装)もにんべんが生み出した。こちらは昭和44年の誕生。



千疋屋総本店
にんべん

三越前
三越本店

山本海苔店

三越前

日本橋

榮太樓總本舗
日本橋西川



山本山本店

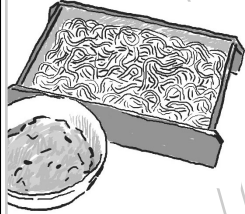
高島屋

砂場



新日本橋

江戸通り



外堀通り

永代通り

壽茶總本舗

甘酒橋丁

人形町

山本山本店

日本橋

玉ひで

水天宮前

ロイヤルパークホテル